

## 泥棒と家の売人の立場で以下の文を読んでください

The two boys ran until they came to the driveway. "See, I told you today was good for skipping school," said Mark. "Mom is never home on Thursday," he added. Tall hedges hid the house from the road so the pair strolled across the finely landscaped yard. "I never knew your place was so big," said Pete. "Yeah, but it's nicer now than it used to be since Dad had the new stone siding put on and added the fireplace." There were front and back doors and a side door which led to the garage which was empty except for three parked 10-speed bikes. They went in the side door, Mark explaining that it was always open in case his younger sisters got home earlier than their mother. Pete wanted to see the house so Mark started with the living room. It, like the rest of the downstairs, was newly painted. Mark turned on the stereo, the noise of which worried Pete. "Don't worry, the nearest house is a quarter of a mile away," Mark shouted. Pete felt more comfortable observing that no houses could be seen in any direction beyond the huge yard. The dining room, with all the china, silver and cut glass, was no place to play so the boys moved into the kitchen where they made sandwiches. Mark said they wouldn't go to the basement because it had been damp and musty ever since the new plumbing had been installed. "This is where my Dad keeps his famous paintings and his coin collection," Mark said as they peered into the den. Mark bragged that he could get spending money whenever he needed it since he'd discovered that his Dad kept a lot in the desk drawer. There were three upstairs bedrooms. Mark showed Pete his mother's closet which was filled with furs and the locked box which held her jewels. His sisters' room was uninteresting except for the color TV which Mark carried to his room. Mark bragged that the bathroom in the hall was his since one had been added to his sisters' room for their use. The big highlight in his room, though, was a leak in the ceiling where the old roof had finally rotted.

[https://www.youtube.com/watch?v=r\\_nrr3XIOKI](https://www.youtube.com/watch?v=r_nrr3XIOKI)

二人の少年は私道に来るまで走った。「ほら、今日は学校をさぼるには都合が良い」とマークは言った。「お母さんは木曜日不在だよ」と彼は付け加えました。背の高い生け垣が家を道路から隠したので、二人は美しく手入れされた庭を散歩しました。「あなたの家がこんなに大きいとは知らなかった」とピートは言った。「ああ、でも、お父さんが新しい石の下見張りを暖炉に追加したので、以前よりも良くなったよ。フロントドアとバックドアそしてガレージに通じるサイドドアがありました。ガレージには10速バイク3台を除いて何もありませんでした。彼らはサイドドアに入った、マークは彼の妹が母親より早く家に帰った場合に備えてそれは常に開けたと説明した。ピートは家を見たかったので、マークは居間から始めました。そこは、階下の他の部分と同様に、新しく塗装されています。マークがステレオをつけたので、その音をピートが心配しました。「大丈夫。最寄りの家は4分の1マイル離れているから」とマークは言いました。ピートは、広大な庭を越えてどの方向にも家が見えないことがわかり、安心しました。陶磁器、銀、カットガラスがすべて揃ったダイニングルームは遊ぶ場所がなかったので、男の子たちはサンドイッチを作るキッチンに移動しました。マークは、新しい配管が設置されて以来、地下室は湿気がありかび臭いので、地下室には行かないと言いました。ここはお父さんが有名な絵画とコインコレクションを保管している場所だよ」とマークは彼らが書斎をのぞき込んだときに言いました。マークは、父親が机の引き出しにたくさんお金を入れていることに気付いたので、必要なときにいつでもお金を使うことができると自慢していました。2階に3つの寝室がありました。マークは、毛皮で満たされた母親のクローゼットと宝石を入れた鍵のかかった箱をピートに見せました。彼の妹の部屋は、マークが彼の部屋に持っていったカラーテレビを除いて、面白くなかった。マークは、妹の部屋に追加されたので、ホールのバスルームは自分のものだとして自慢していました。しかし、彼の部屋で気になる点は、古い屋根が腐ってできた天井の漏れでした。

直ぐに次のページを見ないこと

二人の少年は私道に来るまで走った。「ほら、今日は学校をさぼるには都合が良い」とマークは言った。「お母さんは木曜日不在だよ」と彼は付け加えました。背の高い生け垣が家を道路から隠したので、二人は美しく手入れされた庭を散歩しました。「あなたの家がこんなに大きいとは知らなかった」とピートは言った。「ああ、でも、お父さんが新しい石の下見張りを暖炉に追加したので、以前よりも良くなったよ。フロントドアとバックドアそしてガレージに通じるサイドドアがありました。ガレージには10速バイク3台を除いて何もありませんでした。彼らはサイドドアに入った、マークは彼の妹が母親より早く家に帰った場合に備えてそれは常に開けたと説明した。ピートは家を見たかったので、マークは居間から始めました。そこは、階下の他の部分と同様に、新しく塗装されています。マークがステレオをつけたので、その音をピートが心配しました。「大丈夫。最寄りの家は4分の1マイル離れているから」とマークは言いました。ピートは、広大な庭を越えてどの方向にも家が見えないことがわかり、安心しました。陶磁器、銀、カットガラスがすべて揃ったダイニングルームは遊ぶ場所がなかったので、男の子たちはサンドイッチを作るキッチンに移動しました。マークは、新しい配管が設置されて以来、地下室は湿気がありかび臭いので、地下室には行かないと言いました。ここはお父さんが有名な絵画とコインコレクションを保管している場所だよ」とマークは彼らが書斎をのぞき込んだときに言いました。マークは、父親が机の引き出しにたくさんお金を入れていることに気付いたので、必要なときにいつでもお金を使うことができると自慢していました。2階に3つの寝室がありました。マークは、毛皮で満たされた母親のクローゼットと宝石を入れた鍵のかかった箱をピートに見せました。彼の妹の部屋は、マークが彼の部屋に持っていったカラーテレビを除いて、面白くなかった。マークは、妹の部屋に追加されたので、ホールのバスルームは自分のものだとして自慢していました。しかし、彼の部屋で気になる点は、古い屋根が腐ってできた天井の漏れでした。

視点	記憶に残る単語・文章
泥棒	水曜日は留守 10速バイク3台 陶磁器、銀、カットガラス 絵画とコインコレクション 机の引き出しにたくさんお金 毛皮で満たされた母親のクローゼット 宝石を入れた鍵のかかった箱 カラーテレビ
共通	背の高い生け垣が家を道路から隠した 最寄りの家は4分の1マイル離れている 広大な庭を越えてどの方向にも家が見えない
家の売人	美しく手入れされた庭 新しい石の下見張りを暖炉に追加 新しく塗装 広大な庭 地下室は湿気がありかび臭い 天井に漏れ